

「日本書記」に登場する日本国初代天皇・神武天皇の物語をご存知でしょうか。その昔、日向（宮崎県）からの東征の途次、戦に苦戦していた神武天皇の弓に、一羽の金鶏（金色のトビ）が飛来しました。金鶏は金色のまばゆい光を発して敵兵の目をくらませ、勝利をもたらしたのです。



現在の舞台

中町二丁目現在の舞台は、明治45年に建造されました。平成21年3月から、約4ヶ月間に及ぶ修復作業を終え、同年7月の天神祭りには美しく甦った姿のお披露目となりました。

中町二丁目舞台の魅力は、何と云っても、躍動感たっぷり、多彩な木彫刻と、凛々しい立ち姿の神武天皇像でしょう。これらの作品は、明治期に中町で活躍していた地元の職人、太田鶴齋・南海親子によるものです。浦島太郎や桃太郎、舌切り雀など、親しみやすい昔話の飾り彫りは、子供のみならず大人でも、思わず心を奪われる愛嬌ある作品群です。繊細な技術力と表現力を備えた名工が、当時の中町には存在したのです。また、鍔金具（屋根や勾欄などを彩る金具の飾り）は、現在も中町二丁目飾り職人として活躍する田口さんの先々代が腕を振るわれました。目にも鮮やかな舞台の上段で、進行方向を見据えるのは、我が国初の天皇にして、戦の神とも言える神武天皇のお姿です。

町同士が威勢を競い合った中で、まさにうつつつけ、と申しますか。当時の町の人々の負けん気が覗えるようで、何だか微笑ましくすらあります。前述した金鶏飛来のエピソードをモチーフにした神武天皇像は、戦後の軍国主義教育の廃止による神武天皇の排除運動にも屈することなく、現在へと伝えられています。

中町二丁目は現在、町会内に暮らす子供が絶え、様々な子供達の行事も姿を消しています。町の宝である子供が居ない今、歴代の町民達の心を伝える舞台は少し寂しそうです。子供と共に、町の宝である舞台からは、私達日本人の様々な歴史や人々の暮らし、地域の魅力を学ぶことができます。お祭りや松本市の行事でこの舞台を見かけたら、是非中町に暮らした沢山の町民に思いを馳せてみて下さい。そして再び中町を歩いてみると、皆さんの知らない、古くても新しい中町の姿に出会えるかもしれません。

# 「中町二丁目 舞台の由来と特徴」

松本市重要有形民俗文化財  
松本城下町の舞台 シリーズ⑤



平成28年1月1日現在

世帯数	: 882戸(+5)
人口	: 1612人(+3)
男	: 789人(+6)
女	: 823人(-3)

も鮮やかな舞台の上段で、進行方向を見据えるのは、我が国初の天皇にして、戦の神とも言える神武天皇のお姿です。

11月6日 秋のウォーキング  
石井味噌の見学

11月9日 デジカム講座  
紅薬と脛那羅石仏

12月8日 健康のつどい  
パン食い競争

1月10日 あめ市

## 第一地区 行事あれこれ

1月4日 小中学生書き初め会

12月19日 本町埋蔵文化財の見学

親子餅つき大会  
12月19日



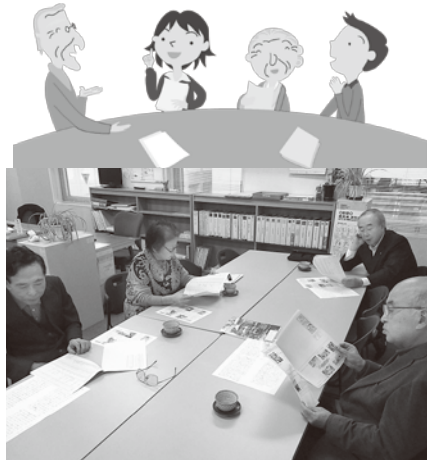
「行事など情報をお寄せください。写真を掲載させていただきます。」

### 館報委員会 編集部



#### 活動内容

2か月に1度地区公民館報「Mウイング」の発行



#### 委員長からひとこと

和気あいあいで行っています。きちんと仕事をしつつ、顔合わせ会・納涼会・新年会なども忘れることなく粛々とこなしています。

### 体育委員会

#### 活動内容

地区住民の健康づくりとスポーツを通して親睦を深める

#### 主な行事

マレットゴルフ大会、ボウリング大会、親子ニュースポーツ大会、ウォーキング



#### 委員長からひとこと

できるだけ多くの皆さんにスポーツの機会を提供できるように心がけておりますので、積極的に参加していただき楽しみながら交流を深めていただきたいと思います。



第二地区公民館は、町内公民館長と地区のみなさんによる委員会が設置され、地区の文化や伝統の継承と記録、学習機会の提供など公民館講座や行事を開催しています。今回は、二委員会をご紹介します。

# がんばっています！公民館委員会

松本という街は、かつて市街地のどこからでも、東の美ヶ原と西の日本アルプスが見える田舎町だった。四十年前、小学校への登校中に開智橋の上から望んだ常念岳の、刻一刻と変化していく色とその美しさに心奪われ、時間を忘れて見入ってしまった。学校に遅刻してしまっただけを思い出す。街の良さとは何だろう。経済成長の中、どこからでも山々が見える街は、高層マンションが立ち並ぶ、中途半端な都会のまねごとの街になっってしまったてはいないだろうか。不便さや多少の生産性の悪さに目をつぶっても、余りある魅力がこの街にはある。この街の持つ本当の魅力は何なのか、この街がこれからどうなっていくのか、子どもから大人まで皆で考えていかねばならない。一度失ってしまったものは、なかなか取り戻せない。松本の本当の魅力、本当の価値がどこにあるのかをじっくり考えたい。

# 電車通り

